

疾走パワリーに感動

みなかみ町藤原の水上高原スキーりゾートでは、今季から新たに雪上レジャーとして犬ぞり体験プランを導入した。昨年、犬ぞりの全国大会を開催したことがきっかけで、同大会の主宰者で昭和村の平井寧さん親子がインストラクターを務める。夏はゴルフ場として使われているんだらかな雪原に設置されたコースで、

インストラクターと一緒に乗り約2キロを走る「体験ドライバープラン」に参加した。

そりを引くのは、9頭のアラスカンハスキー。犬ぞり用に長い年月をかけて交配されてきた犬種で、毛足が短くスリムな体形。小刻みに震えているが、寒いのではなく「武者震い」だという。早く走りたくてうずうずしているのだ。

乗り方を教わった後、平井さんが「オーレー」と叫ぶと、一斉にスタート。「ジー(右)」「ハウ(左)」などの指示に俊敏に反応しながら、乱れることなく猛然と進む。予想以上に速く、後ろに乗る私たちの重さなど感じていないかのようだ。そのまま滑らかに雪上を駆け、あつという間に一周。ハンドルもブレーキ操



みなかみ町 犬ぞり体験



▲そりを引く犬たちのたくましい背中を見ながら、小雪が舞うゲレンデを疾走。晴れていれば雄大な景色も楽しめる



▲「今日はよろしく」と犬たちにあいさつ。みんなフレンドリーでかわいらしい。走り終えたらお礼の餌も欠かせない



▲そりの足場は狭い。「つま先に重心を置いて、膝の屈伸でバランスをとるよう」と平井さん(右)



地元産の大豆と米こうじを使った手作りみそ。2年間熟成させた風味豊かな味わいは、観光客や地元の人たちにも人気です。【協力】たくみの里「豊樂館」

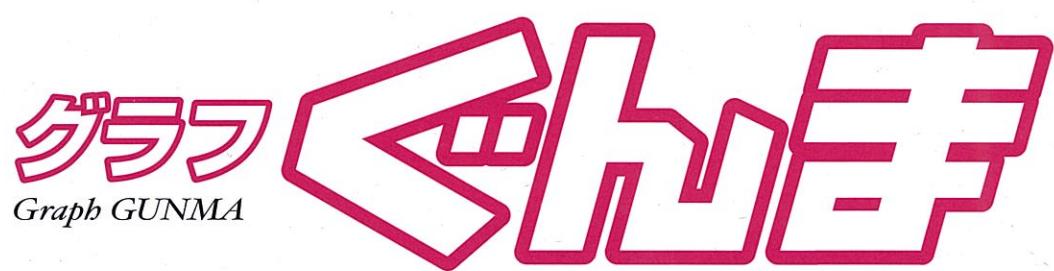
読者プレゼント

日々の「愛読に感謝して、みなかみ町の道の駅・たくみの里の「豊樂みそ」(3kg)を4人にプレゼント。

●予約・問い合わせ／水上高原ホテル200
050-0278-752222

●応募方法／官製はがき、FAX、Eメールのいずれかに、住所、氏名、電話番号、年齢、性別、職業、感想を記入ください。ホームページも応募できます。
<http://www.rajin.com/graph/news/>
●応募先／上毛新聞社事業局出版部
「グラぐんま3月号」読者プレゼント係
〒371-8666 群馬県前橋市古市町1-50
FAX027-254-9906
E-mail graph@rajin.com
●締切り日／2012年4月10日必着
当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

作も平井さんにお任せだったが、到着するところには太ももがパンパンに。バランスをとるために、踏ん張っていたためだ。犬と関わるには「よく観察して、正しい行動を見つけ褒めること」と話す平井さん。いつも見守っていることを伝えることが大切だという。ハーネスを付ける時はおとなしく、鎖を解けば自然とそりのほうへ駆けていく。犬ぞりを走らせるマッシャーの命令は絶対だ。厳しいしつけのたまものだと感じながらも、従順でパワフルな賢い犬たちに感動。そして、無性に犬を飼いたくなってしまった。体験は4月1日まで。



特集 東日本大震災から1年

かお

大佛次郎賞受賞 司 修さん

県政の話題

群馬・埼玉考古展2012



2012 3